

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	リビングには季節の花や利用者の写真が飾られ落ち着けるよう配慮がされている。洗濯室と洗面台が同室となっており、洗面室前のトイレも少し雑然としている。分類別の保管や危険物の配置を検討し洗剤の誤飲や転倒を防ぐための安全・安心を確保してほしい。	目に付く場所への洗剤はボックス等で目につかない様、整理整頓行い、利用者の安心・安全を確保する。	洗濯場、洗面所、トイレは常に整理整頓し、危険な洗剤等はボックス、ガゴ、布等使い利用者の目に触れない様、安心・安全に努める。	2ヶ月
2	1	開設当時に作成した理念を職員が意見を出し合い見直し、玄関やフロアに掲示している。しかし、見直した理念について新任者の理解は不足している。職員間で常に話し合い、その意義を日々の申し送りや会議などで共有し理念を中心とした業務を期待する。	グループホームおすずの介護理念を再検討し職員全員で共通理解のもと毎日の業務を理念を中心としたものにする。	職員会議や内部研修でグループホームおすずの現在の介護理念について話し合い、理念がなぜ必要なのかを再検討し、職員全体で毎日共有でき業務に活かせるよう毎日の朝礼で周知する。	3ヶ月
3	33	現在看取りはしていない。入居時にホームで対応できる事、出来ない事を説明したマニュアルを作成したが、事業所で出来る事を十分説明できていない。ホームで出来る範囲を超える場合は系列の特別養護老人ホームや医療機関が万全であることを伝え不安を取り除く支援に期待したい。	グループホームおすずでは看取りをしておらず、最後まで介護することは無理である事を利用者、家族に伝えながらも安心してもらえるよう、次の施設への受け入れについても説明する。	作成したマニュアルを再度全職員で検討し、ご家族にもわかりやすく説明することで安心して頂く。又、次への施設として系列の特別養護老人ホーム等の情報提供や申込みの手續等が円滑に進むようご家族の手助けを行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。